

全国訪問教育研究会

第30回記念全国大会（関東） 開催要項

2017年4月20日

■大会実行委員長あいさつ■

全国訪問教育研究会は、第30回を迎えました。この記念すべき時に、訪問教育の足跡をたどり、更なる充実を目指すことは、意義あることと考えています。その足跡をたどると、まず思い起こすことは、「訪問教育の概要（試案）昭53.7」を拠りどころに、今後は何をすべきか、充実の方向性を求めたこと、「特殊教育の改善・充実について（第一次報告）平9.2」において、「高等部における訪問教育の試行的実施」と謳われたことに、喜びと安堵の気持ちをもったことです。「試案」であっても、「試行的実施」であっても、新たな歴史の道を拓くために、先行きを照らすひとすじの光となる文書であったと、今は、思っています。時代の流れの中で就学猶予・免除をせざるを得なかった方々が、学ぶ喜びの中にある現状は、訪問指導に熱心に取り組んできた先生たちの存在が、文書を実質化した大きな例と考えています。特に、高等部訪問教育に至る道のりは、とても長く、多大なエネルギーが費やされました。30年のこの機会に、高等部進学を望みながら、叶わなかった方々の無念の想いや涙にも思いを馳せながら、訪問教育の未来を志向したいと考えています。更に、これまで訪問教育では、あたたかく、ていねいに、きめ細かに、一人ひとりの可能性を育み、子どもに寄り添うアプローチによって、子どもの変容を促し、保護者の信頼を得てきました。その専門的力量に、更に磨きをかける時です。

学習指導要領の改訂に向けては、「主体的・対話的な深い学び」がキーワードです。このフレーズは、人間の生涯にわたって続く「学び」という営みの本質を捉えた授業をデザインすることを意味し、質の高い授業の実現を求めています。授業研究を進め、内容の充実を図ることは、改めて言うまでもなく喫緊の課題です。教員にとっても、「学びに向かう姿勢」が問われています。本大会が爽り多い研究大会になることを祈念いたします。

全国訪問教育研究会第30回記念全国大会（関東）実行委員長 飯野 順子
(特定非営利活動法人地域ケアさぼーと研究所 理事長)

■大会テーマ■

「一人ひとりのいのちが輝く教育をめざして～訪問教育のこれまで、そして これから」

■開催日時■

2017年8月8日（火）～10日（木） 開場12時00分（開会13時00分）

■会場■

大宮ソニックシティ
〒330-8669 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5 TEL 048-647-4111

■主催■

全国訪問教育研究会

■後援■

文部科学省
全国特別支援教育推進連盟・全国特別支援学校肢体不自由教育校長会
全国特別支援学校知的障害教育校長会・全国特別支援学校病弱教育校長会
社会福祉法人全国重症心身障害児(者)を守る会・全国訪問教育親の会・全国病弱教育研究会
全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会・認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワーク
独立行政法人国立特別支援教育総合研究所
埼玉県教育委員会・群馬県教育委員会・茨城県教育委員会・栃木県教育委員会
千葉県教育委員会・神奈川県教育委員会
さいたま市教育委員会
<以下は申請中>
厚生労働省

■大会日程■

8月8日（火）		8月9日（水）		8月10日（木）	
12:00	開場・受付開始	9:00	分科会打ち合わせ（司会 共同研究者・ポーター）	9:00	ワークショップ準備
13:00	開会行事・基調報告	10:00	分科会	9:30	ワークショップ （～11:00）
13:50	各地からの報告	12:30	昼食	11:15	全体会 ・閉会行事
14:15	休憩	13:50	分科会	11:45	大会終了
14:30	大会記念シンポジウム	16:20	分科会終了		
17:00	諸連絡	16:30	共同研究者・役員懇談 （～17:30）		
17:20	全訪研総会 全国訪問親の会懇談会	18:00	夕食交流会（～20:00）		
18:00	総会、親の会懇談会終了				

※2日目昼の弁当手配はありませんので、昼食は持参するか近隣の飲食店をご利用ください。

※8月8日の17:20～18:00に、全国訪問教育親の会懇談会を行います。（場所は5階501です。）

■内容■

（1）大会記念シンポジウム（8/8 14:30～17:00）

「訪問教育のこれまで、そしてこれから」

進行：高木 尚（全国訪問教育研究会会長）

シンポジスト：猪狩 恵美子（福岡女学院大学教授・全国訪問教育研究会 前会長）

長島 康代（京都府立向日が丘支援学校・全国訪問教育研究会副会長）

岩井正一（愛媛県重症心身障害児者を守る会会長）

綿 祐二（日本福祉大学福祉経営学部長・教授）

<シンポジウム内容>

訪問教育の歴史や果たしてきた役割・意味、訪問教育に寄せる期待をいろいろな角度から語っていただくとともに、今後のインクルーシブ教育のもとでの訪問教育の在り方を展望します。

併せて、全国訪問教育研究会の今後の在り方を探っていきたいと思います。

（2）全訪研総会（8/8 17:20～18:00）

全訪研の昨年度の活動、今後の活動方針等について総会を行います。

①活動報告（2016年8月～2017年7月の全訪研の活動内容）

②2016年度 決算報告、会計監査 ③2017年度 予算 ④2017年度 活動方針

⑤規約 ⑥役員候補 ⑦事務局員委嘱

（3）全国訪問教育親の会懇談会（8/8 17:20～18:00）

大会1日目の夕方に、全国訪問教育親の会懇談会を開きます。思っていること、悩んでいること、いろいろ話しに来てください。訪問（卒業生も含めて）の保護者のみなさんの参加をお待ちしています。皆さんのお話に共感し、アドバイスをしてくださる方がいらっしやると思います。（場所は、全訪研大会と同じ会場です。）

(4) 分科会 (8/9 10:00~12:30 13:50~16:20 ※12:30~13:50 昼食休憩)

⑦⑧は午前のみ(10:00~12:30)、⑨は午後のみ(13:50~16:20)です。ご注意ください。

分科会名	分科会のねらい(◆共同研究者)	
①健康・身体づくり 1	○障害が重く、日常的にさまざまな健康管理の必要な子どもに対する関わりについて考えます。呼吸・摂食・排泄・運動動作などの指導について、講義・実践を交えながら交流しましょう。 ◆花井 丈夫(横浜療育医療センター 理学療法士)	午前は、①②分科会は 合同でレポート報告・ 討議を行います。 午後は分かれて実技 講座を行います。
②健康・身体づくり 2	○姿勢づくりや子どもの活動を引き出す関わりについて考えます。講義・実践を交えながら交流しましょう。 ◆竹脇 真悟(埼玉県立宮代特別支援学校)	
③コミュニケーション 1 (コミュニケーション機器の利用)	○重度・重複障害児のコミュニケーションを育てるための援助や配慮について、レポートを元に訪問での実践内容を交流しましょう。	子どもたちの表出や表現を援助する手段として、コミュニケーション機器が利用されています。そうした実践から学びましょう。 ◆菊田 知則(愛媛大学)
④コミュニケーション 2 (重症児のコミュニケーション)	○小中学部の訪問生だけでなく、過年度生など青年期に入っている生徒についても、「コミュニケーション」という視点から幅広く討議をしましょう。	「反応がつかめない」「応答が乏しい」と言われがちな子どもたちですが、丁寧な関わりで意思表示や心の内面を捉えていく実践やその方法について話し合います。 ◆川住 隆一(東北福祉大学)
⑤授業づくり(あそび・文化)	○障害が重く、限られた環境条件の中での「あそび」は、どの教師も親も悩むところだと思います。貴重な経験や工夫を交流しあって共有の財産としましょう。訪問での実践内容、また、青年期に入っている生徒への実践についても、「あそび」から発展した「文化」という視点から幅広く討議しましょう。 ☆参加される方は、教材を持ってきてください。分科会内で教材紹介を行います。 ◆木下 博美(全国訪問教育研究会 前副会長)	
⑥(地域での生活支援と教育-医療・教育・生活)	○「地域の中で生きる」視点での生活支援、卒業後の進路を見通した指導、アフターケア、社会参加など、子どもたちの教育と生活を豊かにする地域支援のネットワークづくりが大切になっています。医療的ケアを必要とする障害の重い子どもたちから内部疾患を持つ子どもたちの地域での生活など、様々な障害のある子どもたちの就学前から在学中、卒業後までの教育と生活を考えていきましょう。 ◆綿 祐二(日本福祉大学経営学部長・教授) ◆下川 和洋(全訪研全国事務局・NPO法人地域ケアさぽーと研究所理事)	
⑦施設内の教育 (※この分科会は午前のみ 行います。)	○分教室や施設内学級、施設訪問等の教育内容について、具体的事例を通じて実践を深めていきましょう。また、就学免除者等不就学者の教育保障について関係者との連携を大切にしながら進み始めている実践を交流しましょう。 ◆河合 隆平(金沢大学)	
⑧病気療養児の教育 (※この分科会は午前のみ 行います。)	○“生きる力を育む”いのちの輝く教育を求めて、病気療養児の教育内容・方法や、院内学級・分教室・病院内訪問教育の実践を深めていきましょう。 ◆猪狩 恵美子(福岡女学院大学)	
⑨教育課程 (※この分科会は午後のみ 行います。)	○訪問教育の教育課程について検討します。日課の工夫や授業回数・同行訪問など、またスクーリングや修学旅行、合同授業などの実践を交流しましょう。教育課程の編成に大きくかわる教育条件についての取り組みなども共に考えましょう。 ◆猪狩 恵美子(福岡女学院大学) ◆河合 隆平(金沢大学)	

●分科会レポートの申込みについて

分科会でのレポート発表を希望される方は、次の①~⑤について、**6月10日までにレポート担当宛に連絡をお願いします。**レポート担当者より、印刷部数やレポート送付先を連絡します。

- ①分科会名・氏名・学校名または所属先名 ②自宅住所・電話番号(FAXの有無)・メールアドレス
③レポートタイトル ④使用する視聴覚器機(DVD、パソコン等)
⑤レポートの配布などに関して、個人情報保護の配慮が必要かどうか

<レポート担当> 全国訪問教育研究会 全国事務局 栗山 弘子 FAX 03-5330-8857 h-kuri@peach.ocn.ne.jp

●レポート発表に関して

- ・大会実行委員会で用意できる視聴覚機器は、原則として、プロジェクターとスクリーンです。
パソコン、ビデオ、その他の機器を使用する場合は、各自でご用意ください。

会場で用意するプロジェクターの入力端子はミニD-Sub15ピンのみです。お手持ちのパソコンの出力端子がミニD-Sub15でない場合は、変換アダプターが必要です。

パソコンに応じた変換アダプター（HDMI-VGA、MiNi Display Port-VGA、DVI-VGAなど）を必ずご持参ください。



(ミニ D-Sub15 ピン)

- ・発表されたレポートは、全訪研研究集録「訪問教育研究 第30集」に掲載させていただく場合があります。原稿依頼を受けた際はよろしくお願ひします。

●大会参加者へのレポートの配布について

- ・各レポート配布はレポーターの判断を尊重します。個人情報保護の観点から、原則としては発表される分科会の中のみとなります。
- ・各分科会の内容は、2018年1月発行の「訪問教育研究第30集」（1000円+送料）に掲載されます。大会の会場でも予約を承りますので、他の分科会のレポートを知りたい方はご利用ください。

(5) 夕食交流会 (8/9 18:00~20:00)

交流会は、全国のみなさんとごつくばらんに話し、つながる場です。お互いの都道府県での苦労話や感動を話したり、分科会では聞けないとおきの話が聞けたりするかもしれませんね。どうぞ、みなさん、参加してください。(※参加する場合、5000円~6000円程度の費用をいただきます。)

(6) ワークショップ (8/10 9:30~11:00)

	ワークショップ名	講師	内容
A	重度の子どもの授業づくり	飯野順子 (NPO法人 地域ケアさぼーと研究所理事)	絵本を教材とした授業に数多く出会いますが、その絵本作家が伝えたいエッセンスが生かされていません。絵本の絵を読み解き、絵本を活用した子どもにとって魅力がある授業づくりを考えます。
B	医療的ケアの動向	下川和洋 (全訪研全国事務局・NPO法人地域ケアさぼーと研究所理事)	2011年に「社会福祉士及び介護福祉士法の一部改正」が行われ、介護福祉士の他に介護職員等(特別支援学校の教員等も含む)の非医療職が行う痰の吸引等が法律に位置づけられました。2012年4月1日の法施行により、自治体間での取り組みに温度差が出ています。ここでは、国の制度設計や実施上の課題について学習します。
C	ICT (AAC Part2)	谷本式慶 (東京都立八王子東特別支援学校)	いろいろな教材を紹介します。実際に教材にさわったり、操作してみましよう。初心者でも大丈夫。子どもたちに応じた教材を探しましよう。 (※21回東京大会に続いてのPart2です。)
D	授業で役立つ音楽・歌遊び Part2	関原彩子 (東京都立多摩桜の丘学園)	思い障害のある子どもたちとの授業で役立つ「音楽遊び」「わらべ歌」「楽器遊び」など、すぐにでも役立つ遊びや教材を紹介します。一緒に楽しみましよう。 (※21回東京大会に続いてのPart2です。)
E	子どものからだへのかかわり方~言葉としてのからだ	鈴木芳宏 (動作法おおみや主宰・日本リハビリテーション心理学会 スーパーヴァイザー資格・日本臨床動作学会 臨床動作士・元特別支援学校教諭)	筋ジスの子どものがはじめて自力でのお座りで、グラフのX座標Y座標の直交を正確に理解し、また湿度計の「高低」の概念も実感したという岩手の養護学校(当時)の報告があります。子どものからだへの関わりは、自立活動6区分26項目をこえて子どもの可能性を劈(ひら)くことです。からだ語るゆたかな「ことば」を送受信するセンサーを磨きましよう。
F	ターミナル期の子どものかかわりについて考える	渡辺美佐子 (元 全訪研副会長) 訪問保護者 (お母さん)	担当しているお子さんと悲しい別れを経験した方も多いと思います。訪問学級を経験した保護者(お母さん)のお話を聞き、別れが近付いたとき、担任としてどんなにかかわりができるか、お子さんが亡くなったとき、ご家族とどんなにかかわりが持てるか、一緒に考えてみましよう。

(7) 全体会（閉会行事） (8/10 11:15~11:45)

大会最終日の全体会です。以下の内容を予定しています。

- ・実行委員長あいさつ
- ・大会宣言
- ・次回開催地への引き継ぎ
- ・歌「小さないのち」

■わくわくクラブ（保育）と緊急時の体制について■

実行委員会では、子どもさんや障害があるお子さん連れでも、保護者の方に参加していただきやすいように、わくわくクラブ（保育）を設けます。

●時間帯 次の4つの時間帯でわくわくクラブを実施します。

- (a) 8月 8日（火） 13:00~18:00 ※全訪研総会終了まで
- (b) 8月 9日（水） 10:00~12:30
- (c) 8月 9日（水） 13:50~16:20
- (d) 8月10日（木） 9:30~11:45

●緊急時の体制と医療機関（緊急時には、会場近くの病院での対応をお願いしています。）

大宮中央総合病院 さいたま市北区東大成町1-227 TEL 048-663-2501

●わくわくクラブ（保育）申込み

- ・大会参加申込書の「わくわくクラブ（保育）の希望」の欄にご記入ください。
- ・申込み受け付け後、お子さんの生活ケアや医療的ケアの様子を知るために、担当者から連絡させていただきますので、よろしくお祈いします。
- ・クラブ参加費用、おやつ代や見学代等の費用をいただきます。
- ・大会当日に、保険証または、そのコピーをご持参ください。

■参加費・宿泊費■

①大会参加費

	8月8日	8月9日	8月10日
全訪研会員	2,000円	3,000円	2,000円
一般	2,500円	3,500円	2,500円
保護者・学生	1,000円	1,500円	500円

※参加費に加えて、お一人につき、500円の手数料をいただきます。（事前申込み、当日申込みのどちらも500円の手数料がかかります。）

※会員と一般は費用が異なりますので、ご注意ください。参加申込みと同時に会員申込みをすることも可能です。参加申込書の「入会を申し込む」の欄に○をつけてください。（会員参加費になります。）
入会には年会費4,000円が別途必要です。会費は大会当日に全訪研受付でお支払いください。

②食事関係

夕食交流会・・・2日目（8/9）の18:00~20:00にソニックシティ近辺で行います。費用は5000円~6000円程度になります。参加を希望される方は、参加申込書の「交流会」の欄に○を記入してください。費用は大会当日に集めます。

★2日目（8/9）昼の弁当の用意は、ありません。各自でご用意ください。

③宿泊費

宿泊はソニックシティ隣の「パレスホテル大宮」です。1泊朝食付きの料金（税金・サービス税込）です。

- シングル 13,000円
- デラックスシングル 16,000円
- ツイン 11,700円

※ツインを申し込む場合は、同室希望者名を申込書の特記事項欄にご記入ください。

※デラックスシングルベッドのサイズは160cm（シングルベッドのサイズは110cm）と広めになっています。幼児をお連れの方におすすめです。

※喫煙希望の方は、申込書の特記事項欄にご記入ください。

■申込み方法■

(1) 参加者1人につき1枚「参加申込書」にご記入の上、FAXまたは郵送で、下記送付先へお送りください。

参加申込み締切は、6月30日（金）です。お早目に申込みください。特に、宿泊希望がある場合は、締切厳守をお願いします。（申込みが遅くなる場合は、ご連絡ください。）

※参加申込者が複数の場合は、恐れ入りますが、「参加申込書」用紙をコピーしてお使いください。

※手話通訳が必要な方は、参加申込書の特記事項欄にその旨をご記入ください。

※宿泊がご不用の場合も、参加申し込みをしてください。

【参加申込書の送付先・問い合わせ先】

〒164-0001
 東京都中野区中野5-65-4 和光ビル302号

株式会社 オズ・プロジェクト「全国訪問教育研究会第30回記念全国大会」

TEL : 03-5345-5528 FAX : 03-5345-5589
 メール : jacky@ozpro.net (担当 : 岡田 繁)

大会参加申込み締切 6月30日(金)

- (2) 申込み受付後、メールまたはFAXにて予約確認書・請求書をお送りします。
 (3) お送りした予約確認書・請求書の内容をご確認の上、参加費・宿泊費等の合計金額を指定口座までお振込みください。

<申込み後の取り消しについて>

ご宿泊の取り消しにつきましては、1件1名につき下記の取り消し料金を申し受けます。

ご利用の	20日前～10日前	9日前～2日前	前日	当日	無連絡不泊
当該料金の	10%	20%	50%	80%	100%

日数は宿泊初日から起算させていただきます。

※「大会参加費」については返金できません。代わりに、大会記録が掲載された「訪問教育研究 第30集」を2018年1月に送付致しますので、ご了承下さい。

■資料の請求について■

大会に参加できないが大会記録がほしいという場合は、2018年1月に発行される「訪問教育研究 第30集」を送付致します。(送付は来年の1月です。)大会の記念講演や分科会まとめ、その他、訪問教育に関する資料が掲載されています。下記の郵便口座に資料代(送料込み)として、1300円の入金をお願いします。郵便振替用紙の「通信欄」に「資料請求代」と明記して下さい。

【資料請求の振込先】 郵便振替口座番号「00130-2-95934 全国訪問教育研究会」

(※全訪研会員には、2018年1月に機関紙「こんにちは」と一緒に「訪問教育研究 第30集」を送付しますので、資料請求のみの申込みはしないでください。)

■第7次全国調査冊子の申込み

全国訪問教育研究会では、4年ごとに訪問教育に関する全国調査を実施しています。2013年度調査結果の冊子を500円で販売します。ご希望の方は、参加申込書の「第7次全国調査冊子」の欄に○をつけてください。大会当日、会場で冊子をお渡しします。代金は、当日、全訪研受付でお支払いください。

■「訪問教育研究 第29集」の申込み (※昨年、発行した研究冊子です。)

昨年の大会の記念講演や分科会の内容、訪問教育に関する資料が掲載されています。1冊1,000円です。購入希望の方は、参加申込書の「全訪研 第29集冊子」の欄に○をつけてください。大会当日、会場で冊子をお渡しします。代金は、当日、全訪研受付でお支払いください。

■問い合わせ先 ※開催要項の詳細については、全国事務局長までご連絡ください。

<全訪研会長> : 高木 尚 Tel 090-5330-6275 takagi19552014@gmail.com
 <全国事務局長> : 長 正晴 Tel&Fax 049-231-6941 chou_masaharu@yahoo.co.jp

<参加申し込み・宿泊関係>株式会社オズ・プロジェクト (担当者 : 岡田 繁)
 TEL 03-5345-5528 FAX03-5345-5589 jacky@ozpro.net

○全訪研ホームページ <http://zenhoken.com>

(こちらからも開催要項、参加申込書のダウンロードができます。
 全訪研に関するいろいろな情報も見られますので、ぜひ、ご覧ください。)

■会場へのアクセス■

<電車にて>

おみや
JR大宮駅西口より、徒歩3分

(歩行者デッキ直結)

◆新幹線で

東北・北海道新幹線:

新函館北斗→新青森→大宮

秋田新幹線: 秋田→盛岡→大宮

山形新幹線: 山形→福島→大宮

上越新幹線: 新潟→大宮

北陸新幹線: 金沢→長野→大宮

東北・上越・北陸新幹線: 東京→大宮

◆在来線で

JR 湘南新宿ライン:

横浜→新宿→池袋→大宮

JR 上野東京ライン: 東京→上野→大宮

東武野田線: 船橋→春日部→大宮

<空港から>

成田空港: JR 成田エクスプレス →大宮

京成スカイライナー →上野乗り換え: JR 高崎線・宇都宮線→大宮

高速バス ON ライナー →大宮

羽田空港: モノレール →浜松町乗り換え: JR 京浜東北線→大宮

高速バス →大宮

<お車にて>

首都高速道路埼玉大宮線「新都心西IC」より1km

※大宮ソニックシティ地下駐車場は7時～23時。料金は30分/200円です。

